

三重の

鈴鹿市考古博物館 開館 20 周年記念特別展
三重県埋蔵文化財センター 第 37 回三重県埋蔵文化財展

お気に入り
を探せ!

ご自由に
おとり
ください。



はいわ 大集合!

だいしゅうごう

はいわって
なんだろう?



石薬師東 63 号墳

女良塚古墳
名張市教育委員会蔵

これは
なに?



おじよか古墳
個人蔵
※ 9 月 17 日まで展示

どろんなつわんまわつてくまのてんま



寺谷 17 号墳



中ノ庄 1 号墳

めずらしい
ふねの
はいわ

いろいろなかたち
いろいろな大きさ!



木下古墳
三重大学蔵



宝塚 1 号墳
松阪市教育委員会蔵
※ 展示品はレプリカ

中ノ庄 1 号墳

2018 年

7 月 14 日 土 ~ 9 月 30 日 日

会 場：鈴鹿市考古博物館 特別展示室
開館時間：9 時 ~ 17 時（最終入館は 16:30 まで）
休 館 日：毎週月曜日・第 3 火曜日・祝休日の翌日
助 成：公益財団法人 岡田文化財団

あんないやく
案内役!



鈴鹿市考古博物館

Suzuka Municipal Museum of Archaeology



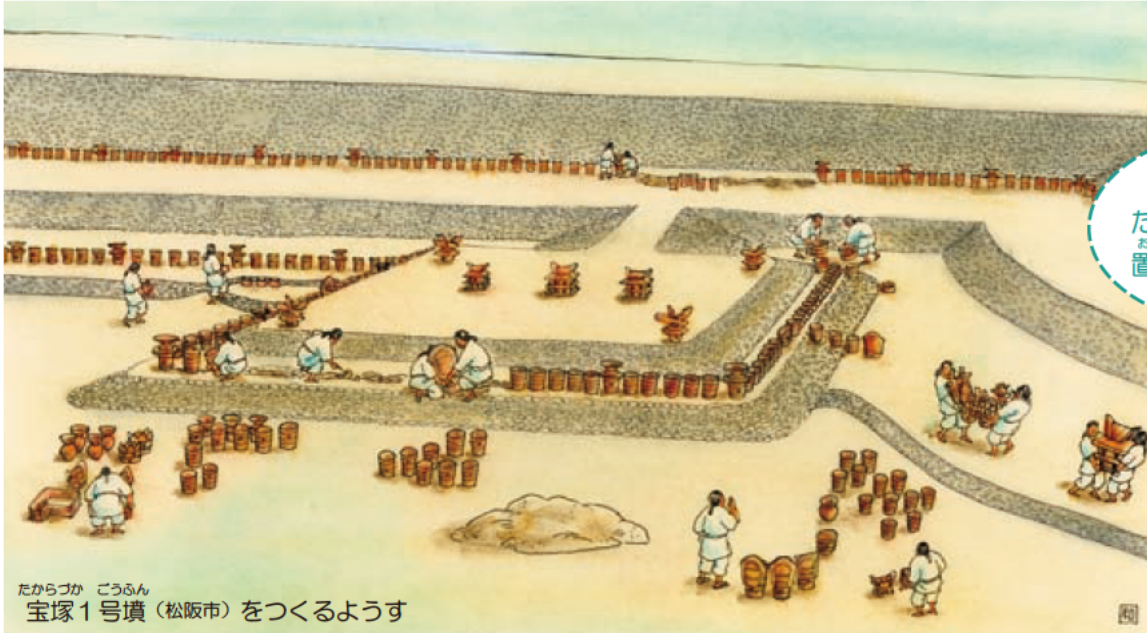
三重県埋蔵文化財センター

ロビーのダイアーン

はにわってなんだろう？

こふんじだい いま ねんまえ おう しゅちょう ゆうりよくしゃ つち も
古墳時代（今から 1,500～1,800 年前ころ）、王や首長といった有力者は、土を盛って
つくられた古墳という大きな墓に埋葬されました。

はにわとは、古墳の上を囲うように並べられた、土でできた焼き物のことです。



たからづか こふん
宝塚1号墳（松阪市）をつくるようす

作画：早川和子氏

こふん
古墳の上には、
たくさんのはにわが
お
置かれていたんだね



円筒はにわと形象はにわ

はにわのかたちはさまざまです。もっとも多くつくられた円筒はにわは、墓を邪悪なものから
まも 守るように置かれました。いえ じんぶつ どうぶつ けいしょう
家や人物、動物などをかたどった形象はにわは、葬式のような
さいげん 再現していた、もしくは死後の世界を表していたといわれています。

えんとう 円筒はにわ

けいしょう 形象はにわ

3世紀

4世紀

5世紀

6世紀

ちやいろ せん
茶色いたでの線は、
そのかたちがつくられた時期を
しめ 示しているよ。えんとう
長い間つくりた
いたんだね



家形埴輪 いえがたはにわ

家形はにわは古墳時代を通してつくられたはにわで、古墳の上に置かれた形象はにわのなかでも中心的なものです。亡くなった人の魂が宿る場所であるという説や、王位継承の儀式が行われる場を表現しているという説があります。



やね 屋根のかたち

いり も や づくり 入母屋造

古墳時代前期から中期に多くつくられたかたちで、大きくて立派な屋根をしている。

屋根や柱のかたちによってそれぞれの名前がついているよ！
かたちを見くらべてみよう！



たからづか ごうふん 宝塚1号墳 (松阪市) 松阪市教育委員会蔵



てらだに ごうふん 寺谷6号墳 (鈴鹿市) 鈴鹿市考古博物館蔵



じょうろづかごふん 展示 女良塚古墳 (名張市) 名張市教育委員会蔵



きり づま づくり 切妻造

津市や松阪市で、同じような大きさの家形埴輪がみついている。

これは堅魚木と
いって、現代でも、
神社の屋根の上に
つけられているよ



展示



かどわききたごふん 門脇北古墳 (津市) 三重県埋蔵文化財センター保管

なかのしょうごふん 展示 中ノ庄1号墳 (松阪市) 三重県埋蔵文化財センター保管



よせ むね づくり 寄棟造

三重県でもっとも多くつくられた屋根のかたち。鈴鹿市や亀山市には背が高いタイプがある。

このしたごふん 展示 木下古墳 (亀山市) 三重大学蔵



いしやくしむがしごふん 石薬師東40号墳 (鈴鹿市) 三重県埋蔵文化財センター保管



うえの いせき 展示 上野遺跡 (津市) 津市教育委員会蔵



あかつちやまごふん 展示 赤土山古墳 (伊勢市) 伊勢市教育委員会蔵

器財埴輪 きざいはにわ

きざい 器財はにわとは、かたな ほこ ゆみ ぶき たて かっちゅう ぶく きぬがさ ぎしき どうぐ
 刀・矛・弓などの武器や、盾・甲冑などの武具、蓋など儀式の道具をか
 たどったはにわのことで、武器や武具は武力を表現していた、もしくは墓の外にいる邪悪
 なものから亡くなった人を守るために置かれていたと考えられています。



甲冑形

よろい かぶと かたち
 鎧や兜の形
 をしている。



てらだに ごうふん 展示
 寺谷3号墳 (鈴鹿市)
 鈴鹿市考古博物館蔵



盾形

ぼうぎょう たて
 防御用の盾をかたどったもの。
 ひょうめん しゃせん さん かく けい せん
 表面の斜線や三角形の線は、
 たて は
 盾に張られていた革の表面に
 えが かんが
 描かれていた文様を写したと
 考えられる。



たかつかやまごふん 展示
 高塚山古墳 (桑名市)
 桑名市蔵



蓋形

くらい たか ひと うえ
 位が高い人の上にかさ
 ける傘をかたどっている。
 たからづか ごうふん ぶねがた
 宝塚1号墳の船形はにわ
 にも同じ形がみられる。



いよのまるごふん 展示
 伊予之丸古墳 (伊賀市)
 伊賀市教育委員会蔵

珍しい!? 埴製枕

こふん まいそう ひと あたま
 古墳に埋葬された人の頭
 をのせたかんが
 と考えられる
 「枕」の形を
 している。



こふん 展示
 おじよか古墳 (志摩市)
 個人蔵・志摩市教育委員会保管

船形埴輪 ふねがたはにわ

たち
大刀

ふねがた とくべつ
 船形はにわは特別なはにわのひとつで、生前の王
 ぎょうせき あらわ せつ よ
 の業績を表しているという説や、この世とあの世を
 はしわた やくわり はいち
 橋渡しする役割で配置されたという説があります。

ふねがた ぜんこく すうれい
 船形はにわは全国で40数例みつかっているが、
 まつさか したからづか ごうふん ぶねがた にほん さい
 松阪市宝塚1号墳でみつけた船形はにわは日本最
 だいのおおきさで、豪華な飾りがついたとても貴重なも
 のである。宝塚1号墳は伊勢国最大の前方後円墳で、
 りっば ふね はいち せい おう つよ けんりよく あらわ
 立派な船は、伊勢平野を制した王の強い権力を表し
 ていると考えられる。



レプリカ 展示
 たからづか ごうふん
 宝塚1号墳 (松阪市)
 松阪市教育委員会蔵

人物埴輪 じんぶつ はにわ

古墳時代の中ごろ、人物や動物をかたどったはにわが作られました。巫女と武人、狩り
のような、きらびやかな馬具をつけた馬など、王の威厳や生前の姿、儀式のようすなどを人
々に伝えるため、古墳の上には様々な場面が再現されました。



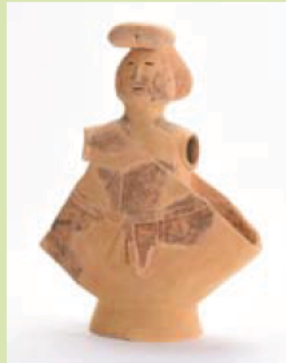
まげを
結っている

首かざり

かみさま つか
神様に仕えた

みこ
巫女

てらたに ごうふん **展示**
寺谷17号墳 (鈴鹿市)
鈴鹿市考古博物館蔵



いしやくしひがし ごうふん **展示**
石薬師東28号墳 (鈴鹿市)
三重県埋蔵文化財センター保管



じょうこぼだに ごうふん **展示**
常光坊谷4号墳 (松阪市)
松阪市教育委員会蔵

かぶと



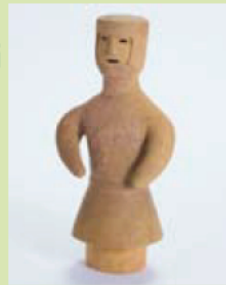
よろい

おう はか
王と墓をまもる

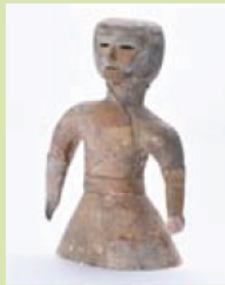
ぶ じん
武人

なかのしょう ごうふん **展示**
中ノ庄1号墳 (松阪市)
三重県埋蔵文化財センター保管

だん し
男子



いしやくしひがし ごうふん **展示**
石薬師東35号墳 (鈴鹿市)
三重県埋蔵文化財センター保管



このした こふん **展示**
木下古墳 (亀山市)
三重大学蔵

みこや武人、馬子のほか
男観、楽人、力士、狩人などが
あって、古墳時代の仕事や髪型、
服装を知る手がかりに
なっているよ

ぼくの
髪型も美豆良
だよ!



うま しいくがかり
馬の飼育係

うま かい
馬飼 (馬子)

さげみすら
下げ美豆良
と呼ばれる
髪型



じょうこぼだに ごうふん **展示**
常光坊谷4号墳 (松阪市)
松阪市教育委員会蔵

じんぶつ も どうぐ **人物はにわが持っていた道具** すべて 展示中!



いしやくしひがし ごうふん **展示**
石薬師東28号墳 (鈴鹿市)
三重県埋蔵文化財センター保管



いなば ごうふん
稲葉3号墳
(津市)
津市教育委員会蔵



なかのしょう ごうふん
中ノ庄1号墳 (松阪市)
三重県埋蔵文化財センター保管



いしやくしひがし ごうふん
石薬師東28号墳
(鈴鹿市)
三重県埋蔵文化財センター保管

馬形埴輪 うまがたはにわ

うま 馬は、古墳時代に朝鮮半島から日本に移り住んだ渡来人によって伝わった動物です。当時、馬はとても貴重であり、一部の有力者のみが飼育できました。馬形はにわは、墓に眠る王の権力を示しています。

三重県最大級！

一般的な馬形埴輪は、額でちょんまげを結ったようなたてがみなんだ



くら
鞍

あぶみ
鎧

鈴鹿市石薬師町からみつかった馬形はにわは、頭から尾までおよそ108cmあり、全体像が復元できた馬形はにわのなかでは三重県最大。頭をおおう被りもの、もしくは垂れたたてがみが特徴的で、同じような頭をした馬形はにわは全国でもみつかっていない。

展示
石薬師東63号墳（鈴鹿市）
三重県埋蔵文化財センター保管

展示
中ノ庄1号墳（松阪市）
三重県埋蔵文化財センター保管



いろいろなうま



展示
寺谷17号墳（鈴鹿市）
鈴鹿市考古博物館蔵

ちょっと
小さい
! ?



展示
小野江甚目古墳（松阪市）
三重県埋蔵文化財センター保管



常光坊谷4号墳（松阪市）
松阪市教育委員会蔵

他にも、いろんな動物のはにわがあるよ！

動物はにわは、馬や鳥を代表として、鹿や犬、猪、猿、牛など、時期によってさまざまな動物がつけられました。それぞれの動物の特徴を単純化してつくられており、古墳の上や周りに置かれることで、王の儀式や狩りのようすを表現していたと考えられています。



展示
石薬師東26号墳（鈴鹿市）
三重県埋蔵文化財センター保管

鳥形埴輪 とりがたはにわ

とりがたはにわは、^{にわとり}鶏と^{みずどり}水鳥が^{つく}つられました。朝を告げる^{あさ}鶏は、古墳の^{うへ}上に^{さいげん}再現された^ぎ儀式のなかで、^{とき}時を告げる^{やくわり}役割を担っていたと^さされます。水鳥は、古墳の^{まわ}周りを^{めぐ}巡る^{ほり}濠などの^{みすべ}水辺に^お置かれ、^{しご}死後の^{せかい}世界へ^{たましい}魂を^{みちび}導く^{やくわり}役割を果たしていたと考えられています。



とまり木

展示
いなば 5号墳 (津市)
津市教育委員会蔵



おんどり 雄鶏

めんどり 雌鶏

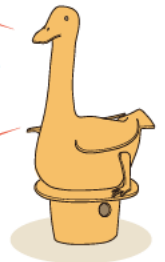
展示
しょうこぼだに 4号墳 (松阪市)
松阪市教育委員会蔵

あし ひょうげん
脚の表現は、
ねんど
粘土をはりつけるものと
せんきさ
線で刻みこむものが
あるね!



展示
てらたに 17号墳 (鈴鹿市)
鈴鹿市考古博物館蔵

三重県には、
水鳥がほとんど
いません……



円筒埴輪・壺形埴輪 えんとうはにわ つぼがたはにわ

えんとうはにわは、はにわのなかで、もっとも古くからつくられた形です。円筒はにわは、たくさんつくられ、古墳の上を^{かこ}囲うように置かれていました。また、円筒はにわと同じような^お置かれ方をしていたはにわに、^{つぼがた}壺形はにわと^{あさがおがたえんとう}朝顔形円筒はにわがあります。



えんとう
円筒
はにわ

展示
たかだ 2号墳 (松阪市)
松阪市教育委員会蔵

つぼ
筒のような形をしており、
もともと つぼ
元々は壺を置く台としてつ
くられたもの。



つぼがた
壺形
はにわ

展示
おわせ 古墳 (松阪市)
三重県埋蔵文化財センター保管

な
亡くなった人に飲食物を^{ひと}供
えることを表していたと考
えられる。



あさがおがた えんとう
朝顔形円筒
はにわ

展示
ほったいせき 堀田遺跡 (松阪市)
三重県埋蔵文化財センター保管

あさがおがた えんとう
朝顔形円筒はにわは、円筒
に壺をのせた形をしている。

みえけん
三重県には、
つぼがた
壺形はにわや壺を
こふん お
古墳に置く例が、他の県
より多いんだって





はにわクイズに挑戦!!

ちょうせん

こたえを書いて、受付に
もってきてね! 正解者には
グッズプレゼント!

★7月21日～9月2日の期間のみ



Q1

三重県でもっとも大きい  がみつかった市は?


石薬師東 63 号墳

こたえ

市

いえがたはにわ

Q2

名張市の女良塚古墳からみつかった  の屋根のかたちを何という?


名張市教育委員会蔵

こたえ

つくり
造

いししょう
形象はにわ

Q3

志摩市のおじよか古墳からみつかった  は、何をかたどったもの?

個人蔵・志摩市教育委員会保管

こたえ



まじょの
じんぶつはにわ

Q4

鈴鹿市の寺谷古墳群からみつかった  の服に描かれている動物は?

寺谷 17 号墳

こたえ

特別展関連行事 とくべつてん かんれんぎょうじ

講演会 14:00～15:30, 当日受付, 無料

7月14日(土)「埴輪の語りを読む～三重県のスペシャルな埴輪から～」

講師:穂積 裕昌氏(三重県埋蔵文化財センター)

9月15日(土)「継体大王の埴輪まつり～今城塚古墳の調査から～」

講師:森田 克行氏(今城塚古代歴史館 特別館長)

はにわ観察会 11:00～12:00, 小・中学生対象, 無料

7月25日(水)・8月8日(水)・8月22日(水)

講師:主催機関職員

ギャラリートーク 13:30～14:30, 無料

9月9日(日)

講師:福田 哲也氏(松阪市文化財センター)、鈴鹿市考古博物館学芸員

協力・写真提供
(五十音順)

伊賀市教育委員会
伊勢市教育委員会
桑名市
個人・志摩市教育委員会
津市教育委員会
名張市教育委員会
松阪市教育委員会
三重大学



稲葉 5 号墳
津市教育委員会蔵



鈴鹿市考古博物館

Suzuka Municipal Museum of Archaeology

〒513-0013 三重県鈴鹿市国分町 224

TEL 059-374-1994 FAX 059-374-0986

URL <http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/museum/>



三重県埋蔵文化財センター

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503

TEL 0596-52-1732 FAX 0596-52-7035

URL <http://www.pref.mie.lg.jp/maibun/hp/>



鈴鹿市考古博物館 交通のご案内

- 鈴鹿インターから約13km
- 車での所要時間約20分

発行: 鈴鹿市考古博物館・三重県埋蔵文化財センター 平成 30 年 7 月 14 日

このパンフレットは、「三重のはにわ大集合!」に伴って、三重県埋蔵文化財センターが作成・印刷しました。

資料の撮影は三重県埋蔵文化財センターが行い、所蔵・保管機関に写真を提供いただいたものは写真の下にその旨を記載しました。